

## 地域企業・産業資料デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する地域企業・産業資料のうち、印刷物および近代の文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものととして了解下さい。写りの悪い資料については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (5) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (6) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 27 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 15HP8021 の交付を受けて作成しています。

0000 0362

追加第一號

日本製鐵株式會社第十二回營業期

自昭和十四年四月  
至昭和十四年九月

事業計畫書追加



日本製鐵株式會社第十二回營業期 至昭和十四年三月三十一日 營業計畫書追加

一ノ二 投資

一、長崎鑛業株式會社ニ對スル出資

本社事業ノ進展ニ隨ヒ骸炭原料用石炭ノ需要益々増加スル所ナリ今般長崎縣西彼杵郡伊王島村及香焼村所在通稱伊王島鑛區ハ炭質良好ニシテ粘結性ニ富ム優良原料炭ヲ藏スルヲ以テ關係者ト協議シ標記長崎鑛業株式會社(公稱資本八百萬圓)ヲ設立シ右鑛區開發ニ當ラシメ、依テ以テ豊富圓滑確實ニ供給ヲ受クル爲左記ノ通出資スルヲ要ス

出資總額

二、〇〇〇、〇〇〇圓 (四〇、〇〇〇株 一株ニ付五〇圓)

内譯

第一回分拂込

五〇〇、〇〇〇圓 (本營業期支出見込 一株ニ付一、二五〇圓)

第二回以後ノ拂込

一、五〇〇、〇〇〇圓 (拂込時期未定 株十四株、本第十回營業期三、外ニ各五〇、〇〇〇圓出資見込)

一、北鮮拓殖鐵道株式會社ニ對スル出資

鐵鋼増産計畫ノ進捗ニ伴ヒ朝鮮咸鏡北道茂山鐵山開發着手ノ結果其ノ鑛石輸送機關トシテ目下朝鮮鐵道株式會社ニテ運行中ナル古茂山―茂山間ノ狹軌鐵道ヲ廣軌鐵道ニ改修シ以テ其ノ輸送量増加ヲ圖ルハ特ニ必要ニシテ右ニ關シ朝鮮總督府ヨリ同社ニ對シ改修工事急務方下命アリタレトモ本事業ハ別個ノ會社ヲ設立シテ之ニ當ラシムルヲ適當ト認メ朝鮮鐵道株式會社、三菱鑛業株式會社及本社ノ三者共同シテ標記北鮮拓殖鐵道株式會社(公稱資本貳千萬圓)ヲ設立スルノ運トナリ依テ本社ハ左記ノ通出資シ以テ原料用鐵鑛石ノ輸送ニ安固圓滑ヲ圖ラムトス

出資總額

四、〇〇〇、〇〇〇圓 (八〇、〇〇〇株 一株ニ付五〇圓)

内譯

第一回分拂込

四〇〇、〇〇〇圓 (本營業期支出見込 一株ニ付五〇圓)

第二回以後ノ拂込

三、六〇〇、〇〇〇圓 (拂込時期未定)

右拂込金ハ本期事業計畫ニ於ケル資金計畫ニ順ヒ之ヲ處辨スルノ見込ナリ

日本製鐵株式會社第十二回營業期支出更正豫算

支出

支 出 合 計	作 業 費 (項以下省略)	出 資 金				起 業 費 (項以下省略)	項 目	款
		北舞石鐵道株式會社出資金	長崎鐵業株式會社出資金	大分商船鐵山經營特別指定貸付金	華中鐵業株式會社出資金			
四四八八九七六	三〇六八三三五九			三六〇二二〇〇	七五〇〇〇	四三五二〇〇〇	三三七〇六五七	本 科 目 直接支出額
	△五六八七五						五六八七五	分 担 額
四四八八九七六	三〇一四二五六四			三六〇二二〇〇	七五〇〇〇	四三五二〇〇〇	三九三九五九二	計
九〇〇〇〇		四〇〇〇〇	五〇〇〇〇			九〇〇〇〇		本 科 目 追加額
四四七九九七六	三〇六八三三五九	四〇〇〇〇	五〇〇〇〇	三六〇二二〇〇	七五〇〇〇	五三五二〇〇〇	三三七〇六五七	本 科 目 更正額
	△五六八七五						五六八七五	分 担 額
四四七九九七六	三〇一四二五六四	四〇〇〇〇	五〇〇〇〇	三六〇二二〇〇	七五〇〇〇	五三五二〇〇〇	三九三九五九二	計
								備 考